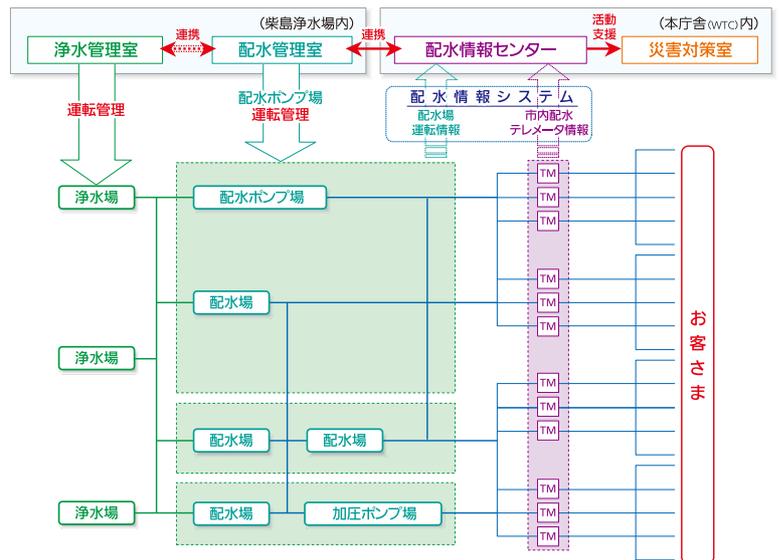


配水管理

大阪市では、平常時における配水運用の効率化と緊急時における迅速な配水運用を実現するため、柴島浄水場総合管理棟内に設置した配水管理室から市内の配水場・ポンプ場の一元管理を進めているほか、配水情報システムを通じて、市内一円の配水管に設置した配水テレメータにて情報収集し、全域の配水状況のモニタリングが可能な配水情報センターを設置し、それらを連携運用しながら、全市的な水運用管理を行っている。



■配水管理室



柴島浄水場第1配水管理室、第2配水管理室、大淀配水場、工業用水道城東浄水場の配水管理機能が統合され、新たに配水管理室として平成20年4月より稼動した。

その結果、柴島浄水場構内4か所の配水ポンプ場(第1・2・3配水ポンプ場、工業用水道大淀川配水ポンプ場)並びに、市内6か所の浄水場・配水場・ポンプ場(大淀配水場、大手前配水場、真田山配水場、北港加圧ポンプ場、工業用水道城東浄水場、同桜宮配水場)からなる上水道・工業用水道合わせて10か所の施設における配水ポンプ設備の遠隔運転制御を24時間、一元的に行っている。

■配水情報センター



市内全域の配水管に設置した配水テレメータ(流量計・水圧計)を用いて、配水状況を監視するもので、平常時における断水・通水等の検討や、災害・事故等緊急時における急応配水計画の立案などに活用している。

配水情報センターにて収集・処理したデータは、庁内各担当、浄水場、水道工事センター、営業所に配備した配水情報システム、災害情報システムなどの端末で閲覧することができる。

なお、配水ポンプ運転の指標局など、主要な配水テレメータ30局について、震災対策として電源の無停電化、通信回線の二重化を図っている。

■配水情報システム



※配水テレメータ設置数(平成19年度末現在)

水圧・流量測定局	57
流量測定局	8
水圧測定局	37

(参考)

工業用水道 配水テレメータ設置数(平成19年度末現在)

水圧測定局	5
-------	---

配水場、加圧ポンプ場では、配水管水圧をなるべく安定させるため、市域に配置した配水テレメータ指標局の水圧が一定となるようポンプ運転の自動制御を行っている。